

椅子用のミニサイズもあります



ダイニングチェアに、小さなアートギャッベを敷きました。椅子を引くたび、きれいなオレンジやグリーンが目に入って、楽しくなります。

自然な色合いだから、やすらげる雰囲気に



家事の合間にお茶を楽しむカフェコーナー。手製の窓枠や古いテーブルに、きれいな赤のアートギャッベがよく似合うんです。

食べこぼしても拭くだけできれいに



ケチャップをこぼしてもすぐには染み込まず、拭くだけで元どおりに。長く使っても汚れがついても、毛につやがあるから、革のバッグみたいに表情や味わいが出て、楽しめそう。

モチーフには伝統的な願いが



大切に子育てをするシカは「家庭円満」、樹齢の長い糸杉をモチーフにした生命の木は「長寿」や「健康」を願う柄なのだそう。織った女性たちの優しい思いが伝わってきます。

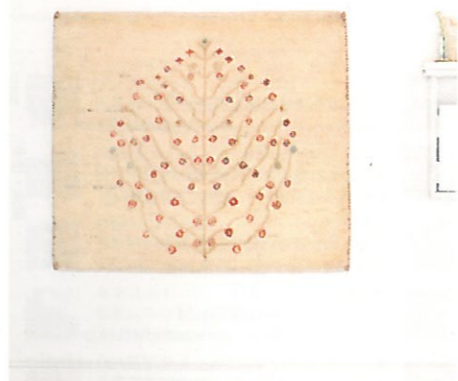
3年前に購入した建売住宅に、漆喰を塗り、板壁を張って、少しずつ理想に近づけてきたわが家。家具や敷物も、ずっと大切にできて、味わいが増すものと思っていたとき、アートギャッベに出会いました。色鮮やかで、柄も個性豊かなアートギャッベ。最初は、真っ白なわが家には合わせにくいかもって思ったんです。でも、あまりに肌触りがいいから、試しに敷いてみることにしました。そしたら、まるであつらえたみたいにぴったり！ほとんどが草木染めでやさしい色合いだから、木と漆喰の家に似合うみたい。パパや母にも「これはいいね」と大好評。1枚ずつふやしていくのも楽しみになりました。使い込むほど味が出るのも魅力。アンティークみたいに育てて、やがて息子たちに引き継げたらうれしいです。

同じ表情のものは一つもありません

適度な厚みでいつもいる場所にぴったり



長く立ち仕事をするキッチンには、特に毛足の長いタイプを選びました。はだしにも気持ちいいし、不思議なくらい疲れないですよ。



一つひとつ色合いや表情が全部違うアートギャッベのなかから、まるで絵みたいにかいれいな木の柄の一枚を見つけました。壁に飾ってアートとして楽しんでいます。

わが家に似合う敷物を探して足を棒にした経験はありませんか？木の家具や漆喰壁のナチュラルインテリアをより素敵に見せてくれる敷物ってなかなか見つかりませんよね。でも、このアートギャッベは特別です。「アートギャッベ大好き！」という入内島さんとスタイリストの石井さんにその魅力を教えていただきます。

やわらかくって、可愛い アートギャッベがお気に入り。

取材/秋川ゆか 撮影/中木 功



リビングには、茶系のグラデーションにところどころ赤、青、グリーンの可愛い模様があしらわれたものを選びました。



ふかふかやわらかくて寝もごきげん

上質な羊毛で織られているから、肌触りが抜群。生後3カ月の柊も、この上に寝かせると気持ちよさそう。

初めてアートギャッベをリビングに敷いた日パパが「やさしい色で、うちに似合うね」ってごろんと寝転んだんですその瞬間、わが家の好きな場所がまたふえました

いりうちま
入内島慶子さん